

教科名		【教科：国語】	教科書調査報告(教科書調査委員会)
発行者名		東京書籍	三省堂
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの扉」のポイントがマンガで示され、生徒に親しみやすい工夫がされている。</li> <li>・国語の基礎的な力を伸ばすだけでなく、他教科の学習や生活にも活用できる読み物教材が扱われている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「言葉発見」という教材を通して、言葉の使い方に関する知識の基礎・基本の定着を図っている。</li> <li>・各教材で学ぶ内容が「思考の方法」、「語彙を豊かに」などで示しており、教科の目標達成に結び付けやすい。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題解決のための学習手順がナンバリングで示され、学習活動の道筋が付けやすく工夫されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読む力を付けるための教材を中心とした「学びのみちしるべ」には学習のプロセスや振り返りのキーワードが示され、思考力・判断力・表現力を育成する工夫がされている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読む力を付けるための教材選定に当たり、以前から掲載されている教材と新たな教材をバランスよく配置してある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読む力を付けるための教材は新旧のバランスがとれていて、生徒の興味・関心を引くものとなっている。</li> <li>・補充教材や基礎的・基本的事項等の資料の取り扱いが充実している。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物の絶滅など、持続可能な社会づくりに向けた教育を意識した教材が各学年で配置されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題など、持続可能な社会づくりに向けた教育を意識した教材が各学年で配置されている。</li> </ul>
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読解教材の行数を示す数字の間に点(・)を打つことで、発話や話し合いの際に他者の示す叙述などを認識しやすくする配慮がされている。</li> <li>・漢字に振り仮名を多く付けることで、音読しやすい配慮がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読み方を学ぼう」では「読む」を「書く」「聞く」「話す」の領域につなげ、伝え合う技能を明確にした工夫がされている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「郷土の良さを伝えよう」という教材は多摩市を題材として取り扱うことができ、地域の実態に即している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題を扱った論説文があり、ESDを推進する多摩市にふさわしい。</li> </ul>

教科名		【教科：国語】	教科書調査報告（教科書調査委員会）
発行者名		教育出版	光村図書
調査の観点			
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	・新出漢字が大きいフォントで表示され、漢字の学びを意識しやすい。	・「文法への扉」では概略を示し、資料を参照することで系統的な深い学びができるよう配慮されている。 ・読み物教材の後にある「学習の窓」は内容を理解するための視点を示すなど汎用性があり、生徒にとって理解しやすくまとめられている。
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	・中心教材の後の「みちしるべ」には「内容を読み深めよう」、「自分の考えを伝え合おう」という学習の流れを示し、読み解く力から伝え合う力の育成へとつながられるよう工夫がされている。	・情報を吟味しながら適切に読み解き、読むことから書くこと、話す・聞くことへと無理なく言語能力を育成できる構成になっている。 ・巻頭の「思考の地図」は様々な思考方法を提示・整理しており、国語の系統的な学習に有効である。
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	・教材が現代の社会問題に即した内容となっている。	・既習の「知識及び技能」を活用して言語活動を行うことで、「思考力、判断力、表現力等」を高めていける教材の構成となっている。
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	・「エシカル」など持続可能な社会づくりに向けた教育を意識した教材が各学年で配置されている。 ・SDGsを意識した構成であり、アイコンが明示されている。	・自然環境など、持続可能な社会づくりに向けた教育を意識した教材が各学年で配置されている。
B 使用 上の 便宜 について	(1)生徒が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	・各学年で学ぶ内容と身に付けたい力が「言葉の地図」に見やすく記されている。 ・読解教材の行数を示す数字の間に点(・)を打つことで、発話や話し合いの際に他者の示す叙述などを認識しやすくする配慮がされている。	・非連続テキストの配置を工夫しながら理解を補い、ナンバリングや図示による手順が明確にされて、主体的な学習ができるよう工夫されている。 ・各教材へのQRコードの掲載など、授業と家庭学習における主体的学習を進めるための便宜が図られている
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	・SDGsのアイコンが明示され、SDGsを意識しやすい。	・自然と人との共生に関する教材や世界の平和につながる教材などが、ESDを推進する多摩市にふさわしい。